

第 3 1 回 技能グランプリ 「表具」職種競技課題

下記の注意事項及び仕様に従って、製作図に示す作品を製作しなさい。

1. 競技時間 9 時間 3 0 分

2. 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「4. 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 作業開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、持参工具等一覧に従うこと。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業時の服装は、作業に適したものであること。
- (7) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3. 仕様

- (1) 製作図のとおり、襖（1 枚）、2 枚折屏風（1 折）、掛軸の型（1）
（ただし、屏風の中に張り込む）を規定の寸法に仕上げる。
 - イ. ほね下地 2 枚のうち、1 枚は、規定の寸法につめる。
 - ロ. 袋張りは、裏表四つ切、喰裂 2 回張る。
 - ハ. 上張り表は鳥の子紙の無地、裏はクロスの柄ものを張る。
 - ニ. 襖の裏側には、引手を規定の寸法につけ、釘を打たないこと。
引手のあきは胴返しとする。
 - ホ. ふち打ちは、屏風は折合打ち、平留め、木口仕上げ。
襖は折合打ち、天地、平ほぞ差し。
 - ヘ. 仕上がった襖は、製作図の位置（2 枚折屏風の左側）に、金具蝶番でつり込む。
 - ト. 本紙の肌裏は真ん中で喰裂で打つ。仮張板には裏出しとする。
上裏（総裏）は 3 枚打ちとする。2 か所に喰裂必要。
 - チ. 掛軸の型は、規定どおりに切り継ぎ、裏打ちしたものを、ふくりんを取って
屏風の決められた位置に張り込む。
- (注) 裏打ちは、肌裏と上裏（総裏）の 2 回とする。
掛軸の形式は、大和仕立とする。（寸法は当日公表）

項 目	(寸 法)	
	丈	巾
本 紙	当日公表	当日公表
一 文 字 上 下	当日公表	当日公表
中 廻 し 上 下	当日公表	当日公表
上 下 上 下	当日公表	当日公表

項 目	(寸 法)	
	丈	巾
筋分け（筋割り）風帯	当日公表	6分(筋5厘×2を含む)
柱	当日公表	当日公表
ふ く り ん	0.5分	
出 来 上 り	当日公表	当日公表

4. 支給材料

品 名	内 容	数 量	備 考
ほね下地	べた張りまでしたもの	2	
ふ ち	6分角の色付ぶち	10	屏風、襖、同じ
上 張 紙	表 鳥の子紙（無地） 裏 クロス（柄もの）	1 1	LMT-15152（リリカラ）
下 張 紙	下 袋 紙 上 袋 紙	7 7	
掛軸用材	本 紙 一 文 字 裂 地 中 廻 し 裂 地 上 下 裂 地 裏 打 用 紙 ふくりん用紙(染紙)	1 1 1 1 2 1	(合金) (嵯峨どんず) (支那パー) 肌裏と上裏(総裏)用 風帯筋用を含む
金具蝶番		2	
引 手	角 形	1	
折 合 釘		30	襖、屏風用
釘（1寸）		16	増釘、天地用
つがい紙		1	
か ま ち	3 尺	2	
竹 く ぎ		20	
の り	支給糊のみを使用 ①京表糊、②長春糊、③みやび糊、 ④木工用ボンド（180g入）		

5. 使用工具等一覧

必要工具類一式を持参すること。

但し、仮張り、作業台、水桶、水入れは競技場で用意する。